医療的ケア児支援の拡充を

質問事項
- ◆子育て支援
- ◆子どもの健診
- ◆がん患者支援

田代一男

たしろ かずお 議員

問　**「医療的ケア児支援法」が施行されたことでの香取市の取り組みは。**

答　公立保育所において、令和4年度から会計年度任用職員の看護師を新たに採用し、医療的ケア児の受け入れに対応しています。

問　**千葉県が設置した医療的ケア児支援センター「ぽらりす」との連携はどう図られるのか。**

答　「ぽらりす」は令和4年7月1日、千葉リハビリテーションセンター内に開設されました。今後、相談支援、人材育成、虐待防止等についてホームページで周知しながら連携してまいります。

子どもの弱視の早期発見を

問　**3歳児健診の視覚機能検査はどのように行われているのか。**

答　アンケート方式による問診と、両目、右目、左目の視力検査を各家庭で行い、健診時にその結果を持参しています。家庭での検査結果によっては、保健師が健診会場で検査を行っています。

問　**弱視の早期発見に有効とされる屈折検査機器「フォトスクリーナー」の導入を図るべきと考えるが、見解は。**

答　3歳児健診において、弱視が見過ごされている可能性があると推測されることから、保護者に対し3歳児健診における視力検査の重要性について啓発するとともに、導入していく市町村の状況や眼科医の意見などを伺い、屈折検査について総合的に検討していきたいと考えております。

男性トイレへのサニタリーボックス設置を

問　**前立腺がんや膀胱がんの手術後、尿漏れパッドを着用することが多いことの認識はあるか。**

答　近年、埼玉県をはじめ千葉県内の自治体においても庁舎等の公共施設で男子トイレにサニタリーボックスを設置している事例があります。その状況などから、おむつや尿漏れパッドを使用する方が多い状況にあるとの認識を持っています。

問　**尿漏れパッドの捨てる場所に困っている人のために公共施設の男子トイレの個室にサニタリーボックスの設置が必要だと考えるが、見解は。**

答　公共施設を所管する各施設管理担当において、まずは、多目的トイレの設置状況や主要管理等の実情を確認の上、その結果を踏まえ、多目的トイレの整備拡充を図る中で、その設置、調整に努めてまいります。

男性トイレに設置してあるサニタリーボックス（伊能忠敬記念館）

小見川城山浄水場建て替え工事の概要は

質問事項
- ◆小見川城山浄水場の建替え工事
- ◆山田地区橘ふれあい公園パークゴルフ場の効率的運用
- ◆消防署小見川分署の建替え
- ◆小見川地区黒部川の有効活用

たかぎ ひろし 議員

高木寛

問　**全体計画の概要及び具体的な効果は。**

答　小見川城山浄水場については、施設の耐震化と水道水の安定的かつ効率的な供給を目的として、更新工事を行うものです。更新する主な施設については、急速ろ過池、配水池、配水ポンプ棟などであり、工事期間については、令和10年度までを予定しております。新たな浄水場には、高度浄水処理方式を導入することにより、浄水処理の安定化とより安全でおいしい水道水の供給が図られます。

問　**全体経費の内訳は。**

答　浄水場内部分の施設更新工事が約81億円、浄水場外部分の天日乾燥床施設工事が約4億円となります。

橘ふれあい公園全体計画の概要は

問　**この公園は完成した場合、香取市有数の観光施設となり得る。その計画の概要は。**

答　橘ふれあい公園に体験学習施設、パークゴルフ場、キャンプ場などを整備し、幅広い世代の市民利用はもちろんのこと、市外からの来訪者を誘致して交流人口の拡大を促進するなど、さまざまな方々に利用される公園であることを重視した計画としています。

問　**パークゴルフ場の利用料金は、市内一般一日1200円、中学生以下一日600円、市外一般1600円、中学生以下一日800円ですが、私はこの料金が適正料金と思うが、市当局の見解は。**

答　運営独立採算制のもと、指定管理者側との協議を経て設定したものであるため、適正な利用料金であると考えています。

令和4年10月1日にオープンした橘ふれあい公園パークゴルフ場

消防署小見川分署の建て替えは

問　**小見川分署は昭和54年に建設され、近年老朽化が著しい。令和4年2月に建て替えの方向性が示されたが、その概要は。**

答　小見川支所南東側にある市有地を建設予定地とし、現在、設計業務および測量業務を行っており、令和5年度、6年度の庁舎建設工事に向けて順調に事業を進めていると香取広域市町村圏事務組合消防本部からの報告を受けています。

問　**小見川地区黒部川における今後の水上スポーツの方向性は。**

答　教育委員会としては、水辺の体験やボート、カヌー教室を通じ多くの皆さんに興味や関心が高まる普及促進に取り組んでおり、今後も、水上スポーツの魅力を市内外にSNS等で情報発信も行っていきたいと考えております。